

「第4回御所市地域公共交通会議」議事要旨

日 時：平成22年8月5日（木）

午後2時～午後4時

場 所：御所市役所本館3階 第1会議室

議事要旨

1. 平成21年度事業報告・決算報告について

2. 平成21年度監査報告について

事務局より資料1「平成21年度事業報告・平成21年度決算報告」に基づき説明が行われた。次に、監事の委員から資料2「平成21年度会計監査報告書」による報告が行われた。

（委員）歳出の事業費の中の「御所駅周辺地域活性化計画策定業務委託」の内容を説明してほしい。

（事務局）「御所駅周辺地域活性化計画」の計画策定に伴うアンケート調査、分析、計画書作成の委託となっている。同様に「御所市地域公共交通総合連携計画」も計画策定に係る分析調査、計画書の製本等の委託となっている。

【「平成21年度事業報告・決算報告」「平成21年度監査報告」について、承認いただいた】

3. 平成22年度事業計画・予算案について

事務局より資料3「平成22年度事業計画（案）・平成22年度予算（案）」について説明を行った。

（委員）平成22年度予算（案）の歳入の補助金である「地域公共交通活性化・再生総合事業」の事業費についてが、昨年度は850万円ほどあったが、今年度は440万円と約半分に削減されているのはなぜか。

（事務局）国の事業費が事業仕分けによって、予算を大幅に削減されたので、今年度はかなり厳しく事業査定がなされた。

（会長）計画は平成22年から24年の3ヵ年の事業であるが、補助金が減らされている中で計画を実施していけるのか。

（事務局）計画の全ての施策を実施するという確約は出来ない。限られた財源の中で、策定された計画に基づき、計画の中身を十分に踏まえ、優先順位をつけながら、できる限り実施していくことになる。

（会長）それぞれの事業の趣旨、狙いを十分考えていただき、事業費も考えながら実証実験を行ってほしい。

（運輸支局）補助金の関係だが、今年度からは計画事業という事で、これから3年間は基

本的に事業費の2分の1を補助金として出す予定である。予算(案)の事業費を見ると、国と奈良県からの補助金、負担金で構成されているが、国の補助金が減った時には、県の負担金はどうなるのか伺いたい。

(事務局) 来年度以降については、国事業の見直し、交通基本法制定を踏まえ見直しを検討することになるが、事業の重要性からできるだけしていききたい。なお、今年度は予算(案)のとおり、500万円の負担金でいきたいと思っている。

(会長) この事業の重要性を認識いただき、国にも県にもご協力をお願いしたい。

(委員) 今年度実施する事業については報告を受けたが、来年度以降行っていく事業の進捗状況はどうなっているのか。

(事務局) 他の事業については、協議、調査、検討を十分に踏まえて考えていくべきものである。時間をかけて検討し、次年度以降に実施していければよいかと考えている。

(委員) 今後は今年度行う施策以外の協議、調査、検討等の進捗状況についても報告してもらいたい。

(会長) 他に意見はないようですので、今年度は報告のとおり事業を進めさせていただきます。

【「平成22年度事業計画(案)・平成22年度予算(案)」について、承認いただいた】

4. 平成22年度実施施策案について

事務局より資料「御所市地域公共交通会議」及び、資料4「H22年度御所市公共交通会議施策メニュー(案)」について説明が行われた。

(委員) フリーパスの販売は観光案内所とかかもきみの湯での販売を計画しているとのことだが、バスに乗り込まれた方がフリーパスを購入できるように、バスの運転手にフリーパスを発行してもらえないのか。

(委員) 乗務員の負荷になるので、バス車内の販売は行わず、現行どおりの特定の場所での販売をお願いしたい。安全輸送の点からご理解いただきたい。

(委員) 広報のPRの仕方が一番肝心なので、しっかりとPRしてもらいたい。

(委員) ダイヤについて、臨時バスの運行が1時間に1本となっているが、バスの発車時刻と電車の発車時刻、到着時刻とが調節されているのか、また、委託会社に奈良交通を選んだ理由は何か。

(事務局) 1点目の時間調整については、尺土駅からの特急、各駅停車の電車の時間を考慮して組んでおり、若干の余裕を確保している。ダイヤについては問題ないと思われる。2点目の奈良交通に依頼した理由については、路線バス運行の実績があり、昨年度に類似したルートで臨時バスを走らせており、昨年利用したバス停(停留所)を今年も使用することができるということで、新しい業者に依頼するよりも、経費が安価で済むことがあげられる。

(委員) 昨年の臨時バスは五條市まで運行しており、また前の会議では橿原市等の他市までバスのルートをのばそうという話もあったのに、なぜ今年は御所市内だけの臨時バスとなるのか。

(事務局) 今回は、御所市の総合連携計画に基づく事業として実施させていただく。この総合連携計画ではエリアを御所市内にすると決まっており、他市に及ぶ事業は計画事業としては出来ないことになっている。

(委員) 委託について一番安い業者に委託するという選定基準になっていることが多い。安ければいいという委託ではなく、安全面も考慮して業者選定してもらいたい。

(会長) バスの件については、昨年は奈良県の魅力創造課が中心となり、県の事業として、御所を出発して五條までのバスとなっていた。事業としてはよかったが、利用者は多くはなかった。今年は、御所市のみとなり、御所市の地域公共交通向上、観光を目的という事で運行していただくので、広報の面で皆様にご協力いただきたい。施策7について、予算はデザイン設計委託料が70万円、案内・誘導サイン設置費が350万円ということだが、何箇所くらいを想定しているのか。

(事務局) 今、県で同じような基準で案内標識を設置しており、図解(地図)標識は約200万円から300万円位、指示標識は約50万円から100万円程度での作成している。多くの情報を載せるとすると1箇所の設置となる。

(委員) 御所市の観光振興課でも似たようなことをしていると思うので、協力して整理していけないものか。

(事務局) 交通の整備が中心となるが、観光の内容も記載していきたいと思うので、観光振興課と調整していきたい。また、整備にあたっては、奈良県の観光案内サイン整備ガイドラインを参考にして、奈良県の中の統一ある案内を作っていく実験にしていきたい。

(会長) 計画の事業実施主体の関連の方々には、事業がスムーズに進むよう、ご協力をお願い申し上げます。

【「平成22年度実施施策案」について、事業実施を確認いただいた】

5. その他

事務局より、施策6「市街地や葛城山麓にある観光地と鉄道駅を結ぶ交通体系の整備(葛城山麓バスの運行)」に関して、何か良いPR方法があれば教えていただきたいとの依頼を行った。

(会長) 御所市地域公共交通としての臨時バスの運行ということであり、昨年より一層のご協力をよろしくお願ひしたい。これで議事を終了する。